

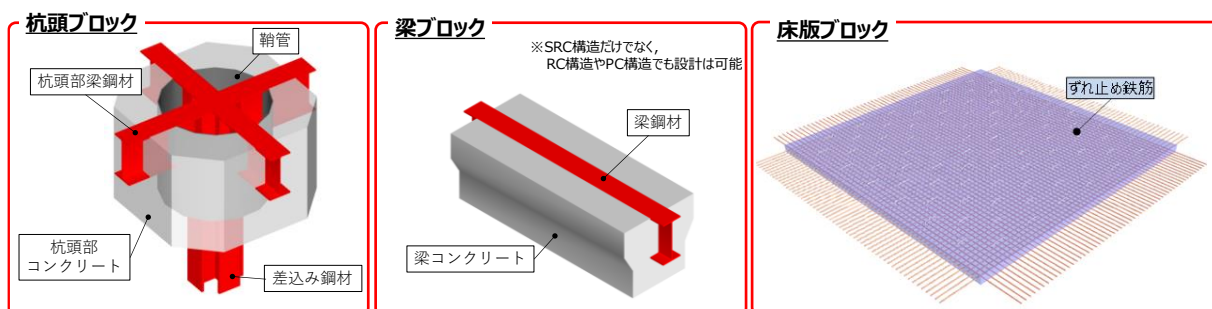
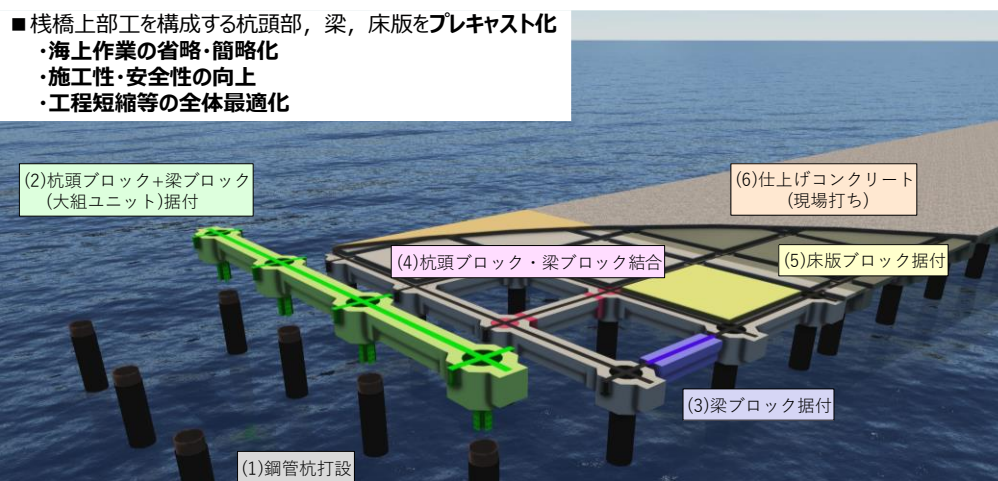
【技術の名称】プレキャスト上部工の鉄骨差込み接合法～SFIジョイント工法～

【依頼者】東亜建設工業 株式会社

【技術の概要】

「プレキャスト上部工の鉄骨差込み接合法～SFIジョイント工法～」は、上部工の一部またはすべてをプレキャスト化して、場所打ち工法における型枠支保工の組立・撤去作業を省略し、杭の施工誤差に対する誤差吸収性能を高め、海上作業の簡略化による施工性および安全性の向上、工程短縮等を図る接合法である。

梁スラブ構造の直杭式栈橋において、本工法を適用する場合の施工概要（案）下図に示す。本例では、差込み鋼材を上部工ブロックに取り付けて製作しておき、さらに栈橋を構成する杭頭ブロックと梁ブロックの一部も陸上で連結しておくことで、更なる海上作業の省人化・省力化を図る方法の概念図を示している。



【評価の結果】

- (1)港湾工事出来形管理基準に示される鋼杭工における杭頭中心位置の許容範囲内であれば、設計上必要な杭頭接合部の耐力を確保できること。
- (2)従来の場所打ちRC施工と比較して、海上作業の工程短縮および省人化・省力化を実現できることが確認された。